

# 5 高齢者のようす

## 総人口に占める65歳以上人口の割合は29.4%と過去最高

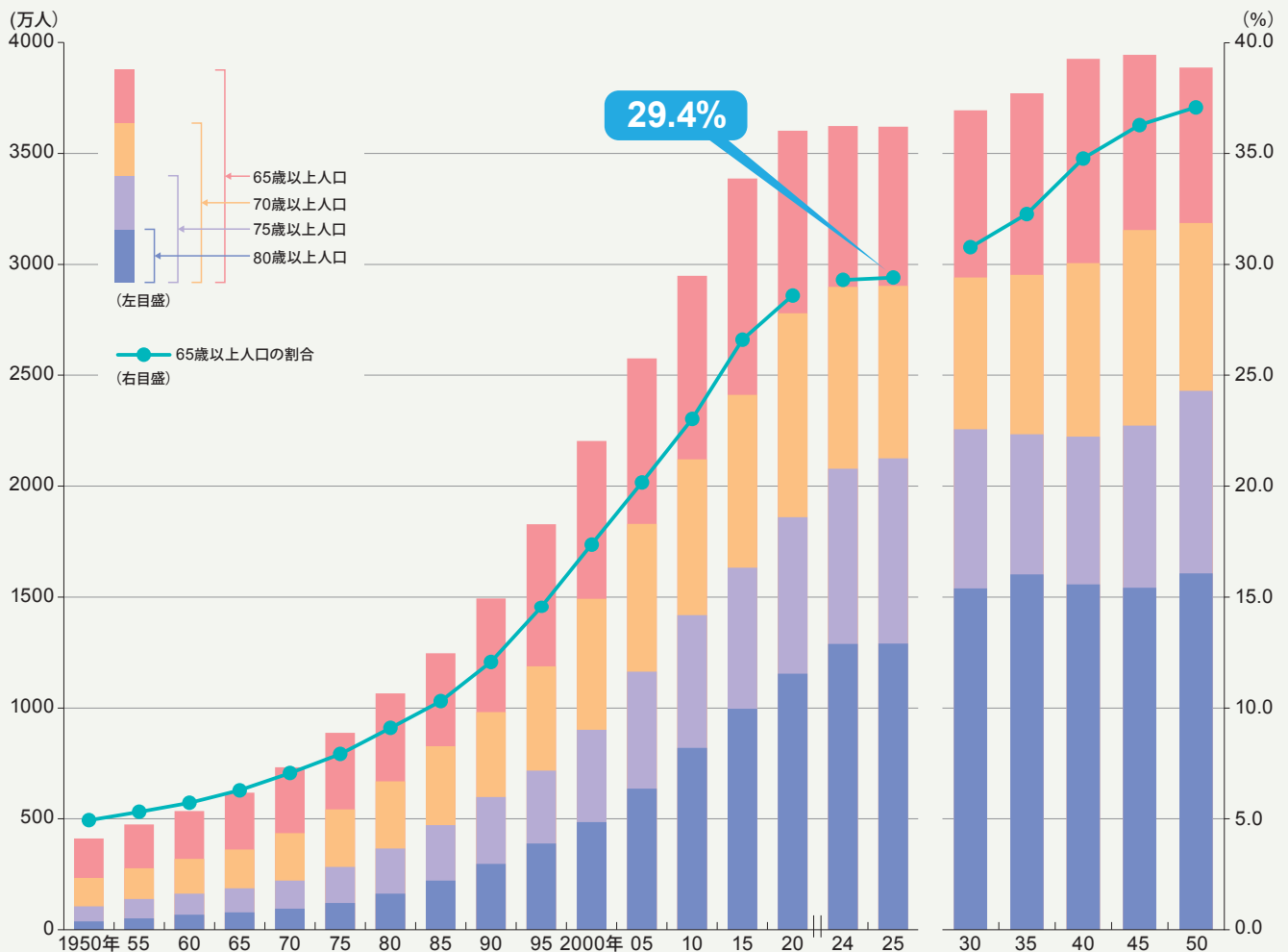
### 65歳以上人口及び割合の推移(1950年～2050年)

2025年10月1日現在の65歳以上人口は3621万人と、前年の3624万人に比べ3万人の減少となりました。一方、総人口に占める割合は29.4%となり、過去最高となりました。

総人口に占める65歳以上人口の割合の推移をみると、1950年以降一貫して上昇が続いており、1985年に

10%、2005年に20%を超え、2025年は29.4%と過去最高を更新しています。

この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期(1971年～1974年)に生まれた世代が65歳以上となる2040年には、34.8%、2050年には37.1%になると見込まれています。



注1：国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年は不詳補完結果

注2：1970年までは沖縄県を含まない。

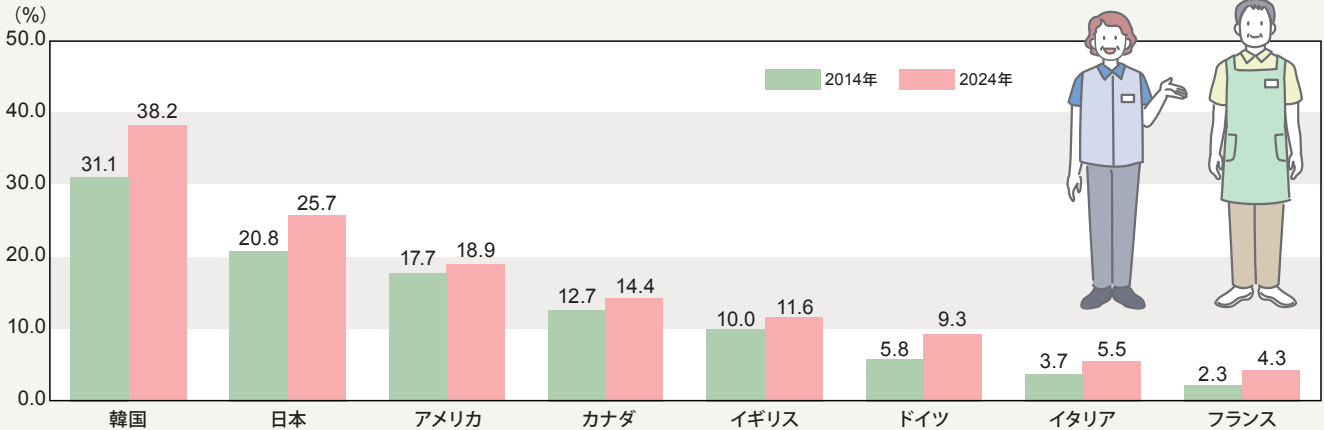
資料：1950年～2020年は国勢調査結果、2024年及び2025年は人口推計、2030年以降は「日本の将来推計人口(令和5年推計)」出生(中位)死亡(中位)推計(国立社会保障・人口問題研究所)

## 日本の65歳以上の就業率は、主要国の中でも高い水準

### 主要国における65歳以上の就業率の比較(2014年、2024年)

主要国における65歳以上の就業率を10年前と比較すると、韓国(+7.1ポイント)、日本(+4.9ポイント)を始め、各国とも上昇しています。

2024年の日本の65歳以上の就業率は25.7%となっており、主要国の中でも高い水準にあります。



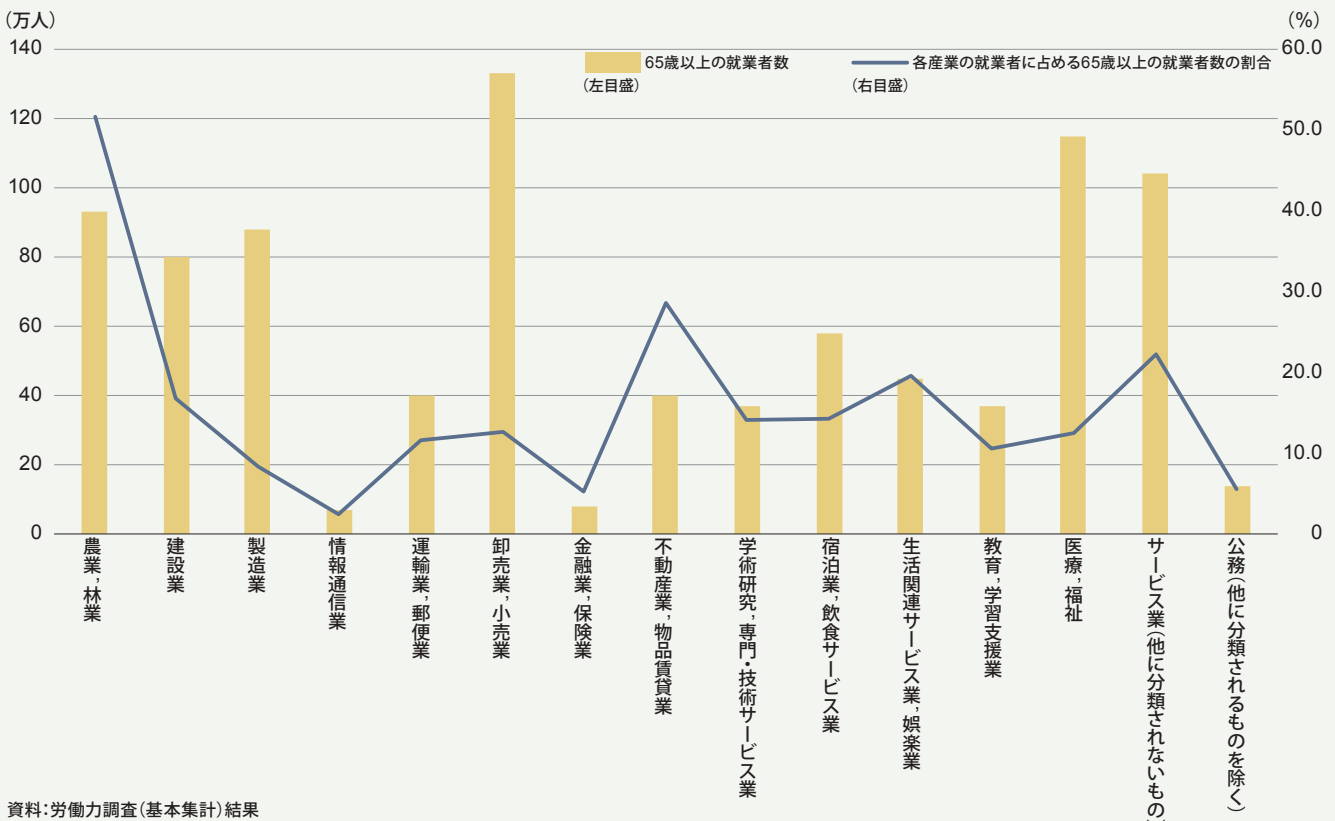
資料:日本の値は、労働力調査(基本集計)結果、他国の値はOECD.Stat

## 65歳以上の就業者数は「卸売業, 小売業」が最も多く133万人

### 主な産業別65歳以上の就業者数及び割合(2024年)

65歳以上の就業者を主な産業別にみると、「卸売業, 小売業」が133万人と最も多く、次いで「医療, 福祉」が115万人、「サービス業(他に分類されないもの)」が104万人などとなっています。

各産業の就業者に占める65歳以上の就業者の割合をみると、「農業, 林業」が51.7%と最も高く、次いで「不動産業, 物品賃貸業」が28.6%、「サービス業(他に分類されないもの)」が22.3%などとなっています。



資料:労働力調査(基本集計)結果